

(参考様式1)

由商観第 1215001 号
平成 27 年 12 月 15 日

国土交通大臣 石 井 啓 一 殿

由布市長 首 藤 奉 文



社会資本総合整備計画について

「社会資本整備総合交付金に係る計画等について」第1第1項に基づき、下記の社会資本総合整備計画について、別添のとおり取りまとめたので提出する。

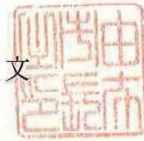
記

- 提出する社会資本総合整備計画
 - ・由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画

由商観第 1215002 号
平成 27 年 12 月 15 日

国土交通大臣 石 井 啓 一 殿

由布市長 首 藤 奉 文



都市再生整備計画について

下記の地区について、都市再生特別措置法（平成 14 年法律第 22 号）第 4 条第 1 項に基づき都市再生整備計画を作成したので、同法第 47 条第 1 項に基づき提出します。

記

由布院地区

しゃかいしほんそうごうせいびけいかく
社会資本総合整備計画

ゆふし たいざいがたじゅんかんかたほようおんせんち さいこうちくけいかく
由布市(滞在型・循環型保養温泉地)再構築計画

おおいたけん ゆふし
大分県由布市

平成27年12月

社会資本総合整備計画

平成27年12月

計画の名称	由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画			
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）	交付対象	大分県 由布市	
計画の目標				

大目標：「湯布院らしさ」を継承するため、早期に解決すべき課題や新たなチャンスを具現化し、観光ブランドとしてより一層の磨きをかけ、官民が一体となってワールドワイドの「由布院ブランド」を構築する。
 目標1：「由布観光ブランド」への昇華に向けて、まずは原点に立ち返り、揺るぎない「由布院観光ブランド」の将来に向けた一歩を踏み出すことで、世界的な観光地としての体制を確立する。
 目標2：官民連携の新組織「まちづくり観光局（仮称）」の設置に伴い、観光振興策を強化し、賑わい創出や活性化を図り、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・年間の観光交流者数400万人の内、観光交流センター（由布市観光・インフォメーション・センター）運用初年度から年間観光交流者等の約1割の利用を目標とする。
- ・商店街の賑わい創出や歩道、町並みの環境整備により商店街の魅力をアップさせ、流入者増を図る。
- ・JR由布院駅周辺の整備事業等により、進入車両の導線を整理・誘導し、駅北側広場前面への車両進入の抑制を図る。

定量的指標の定義及び算定式

駅や各施設における来訪者の観光案内の問い合わせに対応する件数。
 由布見通りにおける歩行者通行者数を測定する（休日12時間通行量）。
 JR由布院駅北側広場前面の断面交通量を測定する（休日12時間交通量）。

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考
(H26当初)	—	(H32末)	
16万人／年	—	40万人／年	
5,750人／日	—	7,200人／日	
2,471台／日	—	1,850台／日	

全体事業費	合計 (A+B+C)	481百万円	A	396百万円	B	0百万円	C	85百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C)	19.9%
-------	------------	--------	---	--------	---	------	---	-------	-------------------------------	-------

交付対象事業

A 基幹事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)							
									H28	H29			H30	H31	H32	
A-1	都市再生	一般	由布市	直接	由布市	由布院地区都市再生整備計画事業	情報発信拠点事業 他 90.0ha	由布市							396	
合計											396					

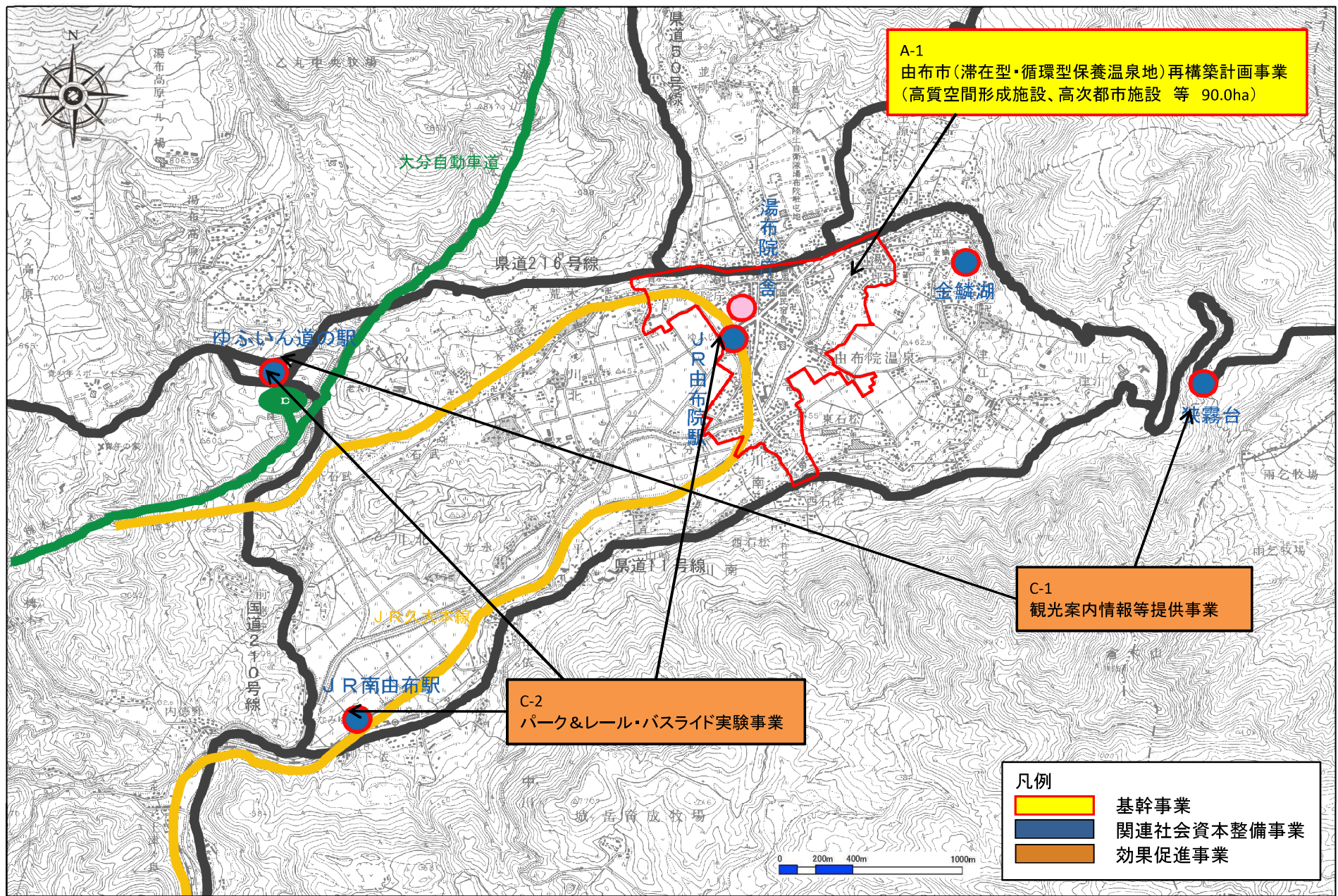
B 関連社会資本整備事業（該当なし）											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)							
									H28	H29			H30	H31	H32	
合計											0					

C 効果促進事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)							
									H28	H29			H30	H31	H32	
C-1	都市再生	一般	由布市	直接	由布市	観光案内情報等提供事業	観光案内情報等の一元化、案内板整備	由布市							35	
C-2	都市再生	一般	由布市	直接	由布市	パーク&レール・バスライド実験事業	トロッコ列車及びバス等の運行実験	由布市							50	
合計											85					

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
C-1	由布院地区の入り口において、渋滞情報や観光案内情報等を一元化し、観光交流者の移動利便性の向上を図る。										
C-2	南由布駅の駐車場を観光客用に整備し、パーク&レール・バスライドによる由布院盆地内の交通渋滞緩和を図ると共に、二次交通手段を確保し、由布院を起点としての周遊観光促進を図る。										

参考図面

計画の名称	由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画		
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度（5年間）	交付対象	大分県 由布市



A-1
 由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画事業
 （高質空間形成施設、高次都市施設等 90.0ha）

C-1
 観光案内情報等提供事業

C-2
 パーク&レール・バスライド実験事業

凡例
 ■ 基幹事業
 ■ 関連社会資本整備事業
 ■ 効果促進事業

関連事業

観光案内情報等提供事業

平面図



電子案内板イメージ
(デジタルサイネージ) HPより



■ 関連事業
観光案内情報等提供事業

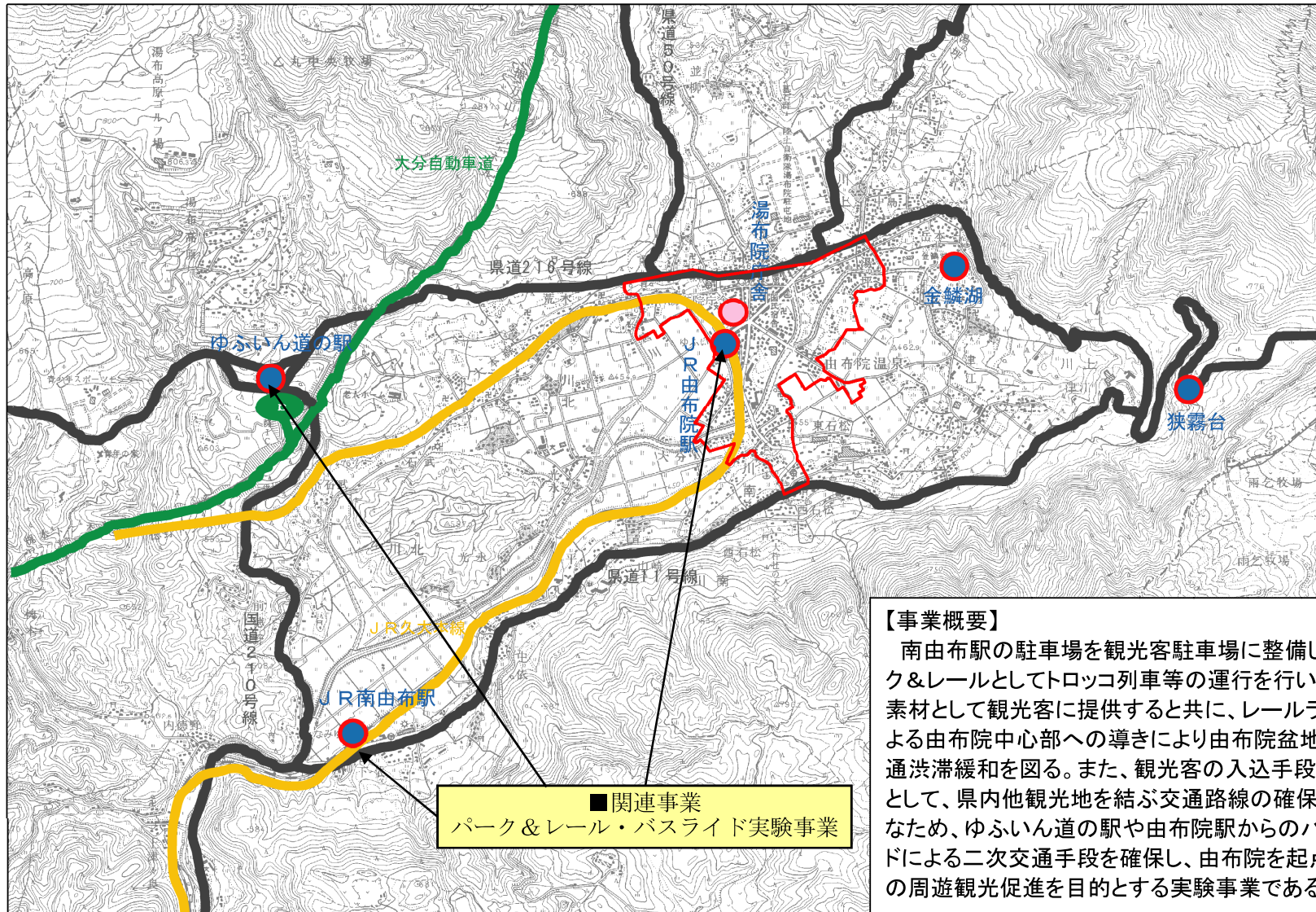
【事業概要】
 由布院地区の玄関口である東の「ゆふいんの駅」と西の「狭霧台」の情報室及び建設予定の観光案内所において、観光・イベント・交通情報を一元化し、多言語対応でリアルタイムに提供することで観光交流者が満足できる情報を発信すると共に、移動利便性の向上と由布院盆地内の交通渋滞緩和を図り、観光交流者に安心して周遊できる観光案内情報の提供を目的とする、観光案内情報板の整備事



関連事業

パーク&レール・バスライド実験事業

平面図



【事業概要】
南由布駅の駐車場を観光客駐車場に整備し、パーク&レールとしてトロッコ列車等の運行を行い、観光素材として観光客に提供すると共に、レールライドによる由布院中心部への導きにより由布院盆地内の交通渋滞緩和を図る。また、観光客の入込手段の確保のため、ゆふいん道の駅や由布院駅からのバスライドによる二次交通手段を確保し、由布院を起点としての周遊観光促進を目的とする実験事業である。

都市再生整備計画

ゆふいんちく
由布院地区

おおいた ゆふし
大分県 由布市

平成27年12月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○観光形態の変化に伴う観光客への案内対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外観光客が気軽に立ち寄れるこれまでに例のない観光情報発信拠点を整備し、九州内広域周遊観光のハブとしての情報提供及び多言語対応の観光案内所として、きめ細やかで観光交流者が満足する情報を提供することで、安心して滞在できる観光地を整備する。 	<p>情報発信拠点事業</p>
<p>○駅前周辺における観光客、住民の安全対策の推進と交流空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅敷地、隣接地を活用した人と車両動線を整理し、観光客や地元住民が安全で利用しやすいスペースの整備を行う。 ・賑わい創出のために、駅前広場を交流空間としたイベント関係の推進を行う。 	<p>駅周辺環境整備事業</p>
<p>○商店街等商工関係者と連携した景観保全と商店街の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観保全に配慮した街並みづくり(看板類の統一、店舗等の修景)を行い、流入者増を図り、観光客の需要を促進させる。 ・歩行者天国やバザール等の商店街と一体となったイベント等を開催し、賑わいを創出する。 	<p>商店街連携対策事業 商店街活性化事業</p>
<p>○ゆっくりとした時間の中で由布院らしさを満喫できる動線整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラー舗装、路面誘導表示、歩道段差解消等の安全対策および観光案内板、トイレ、授乳施設の増設等による周遊環境整備を行う。 ・自然環境を活かした周遊ルートの情報発信や自転車や辻馬車を活用した観光周遊ツールを開発し、回遊性を向上させる。 	<p>市民・観光交流ゾーン環境整備事業</p>
<p>その他</p>	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	396	交付限度額	158.4	国費率	0.4
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		市民・観光交流ゾーン環境整備事業	由布市	直	1箇所	平成23年度	平成33年度	平成28年度	平成32年度	25	25	25		25
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設														
高質空間形成施設		駅周辺環境整備事業	由布市	直	2,500㎡	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	34	34	34		34
		商店街連携対策事業	由布市	直	130m	平成30年度	平成32年度	平成30年度	平成32年度	25	25	25		25
		情報発信拠点事業	由布市	直	面積600㎡	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	301	301	301		301
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業														
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										385	385	385	0	385

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業		商店街活性化事業	由布市	直	—	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	6	6	6		6
事業活用調査		事業効果分析事業	由布市	直	—	平成32年度	平成32年度	平成32年度	平成32年度	5	5	5		5
合計										11	11	11	0	11

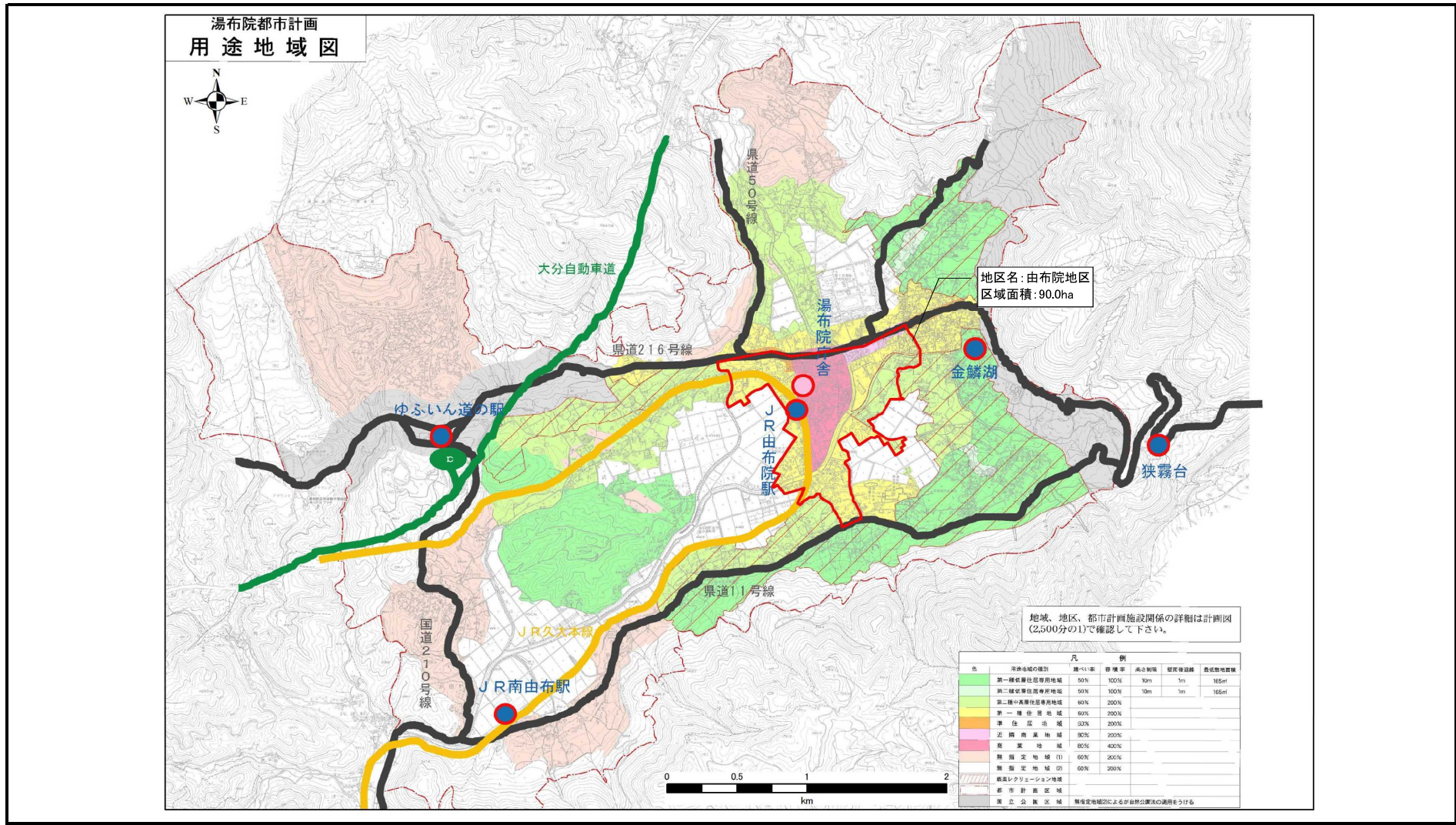
(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
観光案内情報等提供事業	由布院地区	由布市	由布市	—		○			H30	H32	35
パーク&レール・バスライド実験事業	由布院地区	由布市	由布市	—		○			H29	H30	50
合計											85

合計(A+B) 396

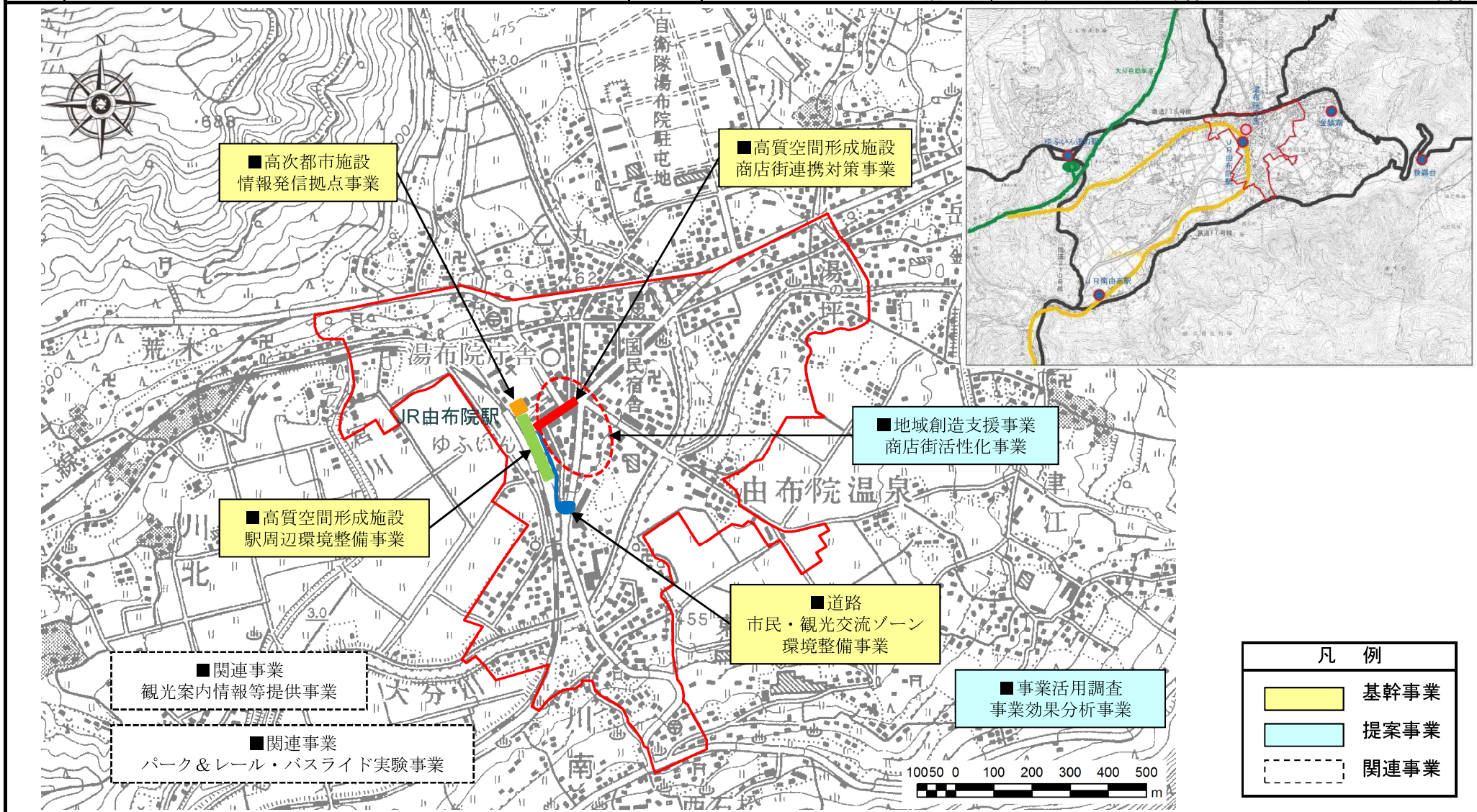
都市再生整備計画の区域

由布院地区(大分県由布市)	面積	90.0 ha	区域	
---------------	----	---------	----	--



由布院地区(大分県由布市) 整備方針概要図

目標	「住む人も訪れる人も癒される”観光まちづくり”」の観点から更なる「滞在型・循環型保養温泉地計画」を推進することとし本地区における居住環境の改善と観光交流者の増加を目的に整備を行うものとする。	代表的な指標	観光案内所利用客数 (人/年)	16万	(H26年度)	→	40万	(H32年度)
			由布見通りの歩行者通行者数 (人/日)	5,750	(H27年度)	→	7,200	(H32年度)
			JR由布院駅北側の断面交通量 (台/日)	2,471	(H27年度)	→	1,850	(H32年度)

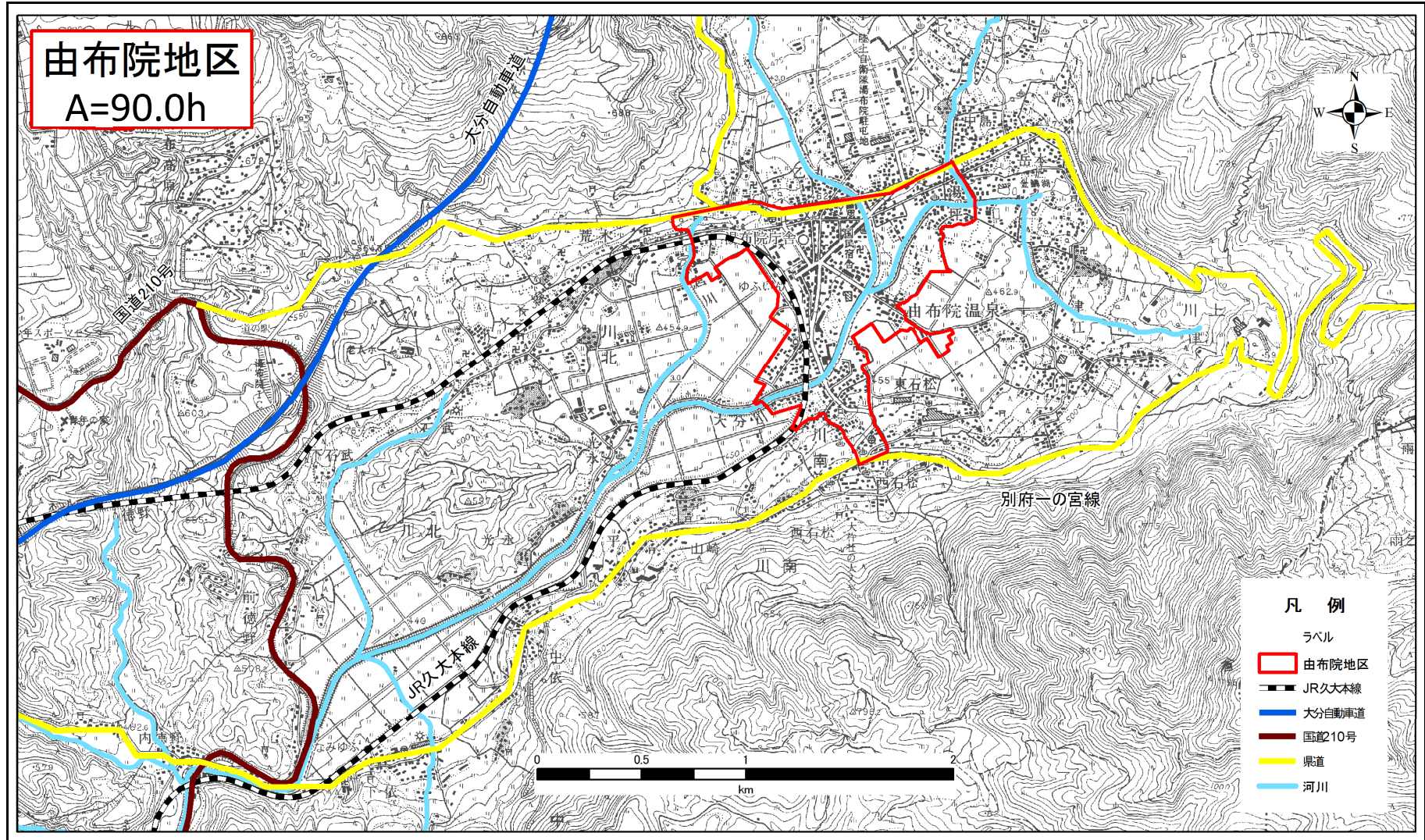


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

ゆふいん ちく 由布院地区 おおいた ゆふ し (大分県由布市)

由布院地区(大分県由布市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

由布院地区 (大分県由布市)

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	158.4 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	4,140.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	158.4 百万円
----------------------	-----------	-----------------------	-------------	----------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 360,000 m²

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	900,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	0.50
区域の面積が10ha未満の地区	0.50
最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
○ その他の地域	0.40

Cl 0 円/m²

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	
公示価格の平均値(円/m ²)	

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m²

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	385 百万円
	提案事業(B)	11 百万円
	合計	396 百万円

Ap 0 m²

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	-	-
公園	-	-
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 4140 百万円

ΣCn 0 円

下水道	0 円
区域面積(m ²)	900,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	380,000

調整池 0 円

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0
標準整備費(円/戸)	超高層	
	一般	
北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 4140 百万円

[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	317
[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	428
	交付限度額(X)	158.4 百万円

- 交付要綱第5 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 交付要綱第5 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

由布院地区 (大分県由布市)

交付要綱第5に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	385.000	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	158.400	① (国費)
	提案事業合計(B)	11.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	213.889	② (国費)
	合計(A+B)	396.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	158.400	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.028		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	158.400	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	158.400	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)	⇒	執行額を足した額	158.400
				補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	158.400	⑩ (国費)
				補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)	
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)				

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓
拡充も考慮した交付限度額 158.400 ⑯ (国費)

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	396.0	(事業費)	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	158.4	⑰ (国費)
			国費率	0.400	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業	細項目								
道路		市民・観光交流ゾーン環境整備事業	由布市	25		3	22		
公園									
古都及び緑地保全事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設		駅周辺環境整備事業	由布市	34	14	20			
		商店街連携対策事業	由布市	25			5	10	10
高次都市施設		情報発信拠点事業	由布市	301	266	35			
既存建造物活用事業									
中心拠点誘導施設									
生活拠点誘導施設									
高齢者交流拠点誘導施設									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				385	280	58	27	10	10
提案事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業	細項目								
地域創造 支援事業		商店街活性化事業	由布市	6		1	5		
事業活用 調査		事業効果分析事業	由布市	5					5
まちづくり活 動推進事業									
計				11	0	1	5	0	5
合計				396	280	59	32	10	15
累計進捗率 (%)					70.7%	85.6%	93.7%	96.2%	100.0%

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 <small>m</small>	幅員		整備後 車線数 <small>車線</small>	歩道 幅員 <small>m</small>	まち交 事業費 <small>百万円</small>	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 <small>年月</small>	備 考 <small>注4)</small>
							整備前 <small>m</small>	整備 <small>m</small>							
<道路>				-											
市道駅前中央線	由布院駅～ 県道鳥越由 布院線	地	市	-	舗装	1箇所	6.0	6.0	1.0	2.0	25	H29-30年度	構造/工法:アスファルト舗装 細工種:土工一式 舗装工一式	-	交差点改良工事
	～			-											
	～			-											
	～			-											

(参考)

<関連事業>															

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

* 不足する場合は適宜行を追加すること

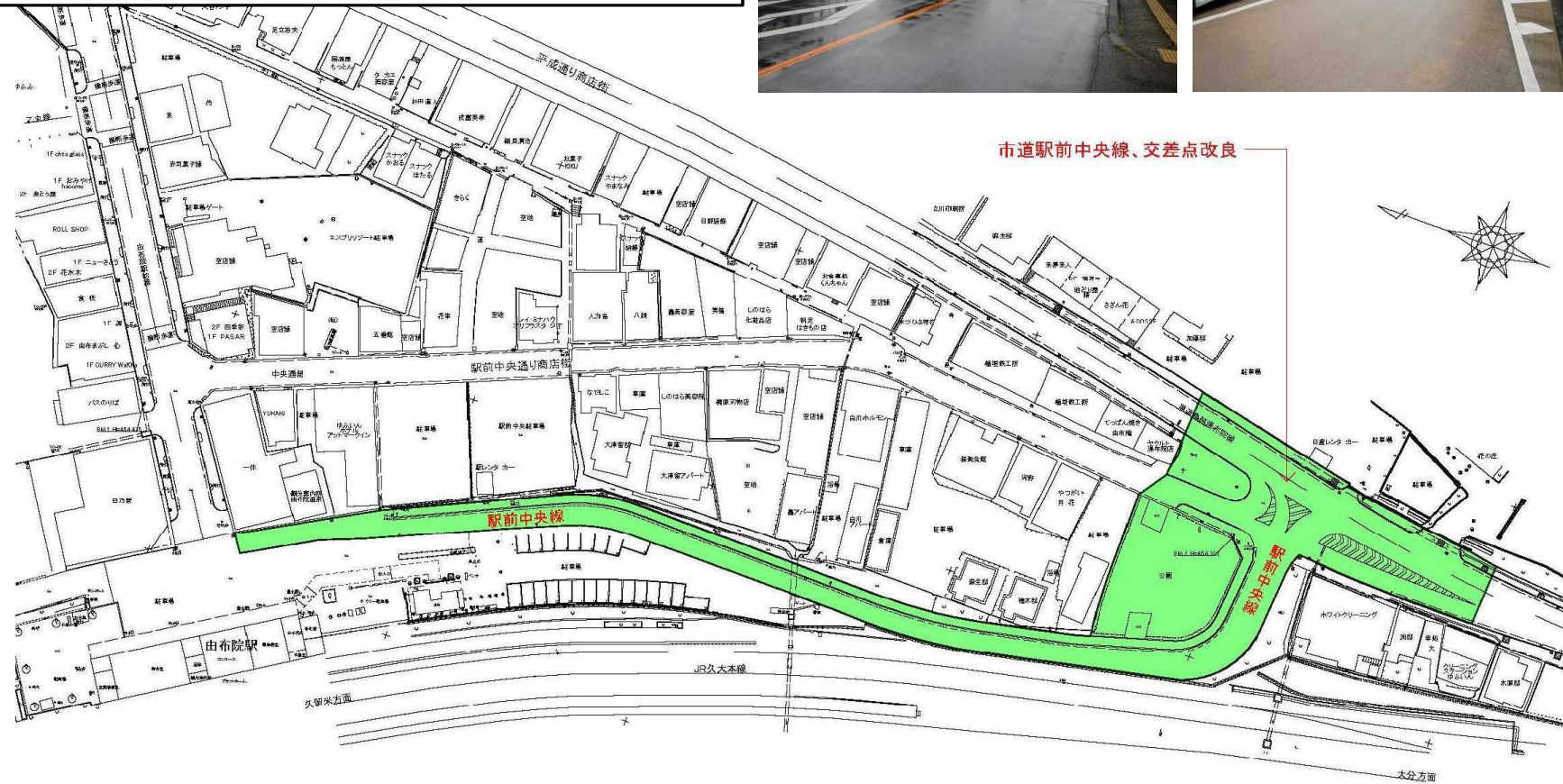
道路

市民観光交流ゾーン環境整備事業

平面図

【事業概要】

観光貸切バス等はJR由布院駅北側広場が待機場場となっており、渋滞の大きな原因の一つになっている。また、現況の交差点が鋭角なため、大型バスの出入進路が限定的となり、スムーズな車両の流れが確保できておらず、渋滞の原因となっている。よって、この現状を解決するための検討・検証等を行い、慢性的な駅周辺の渋滞緩和に向けて、バス待避所の確保や車両誘導の整備を考慮した市道駅前中央線、交差点改良を行うものである。



高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・ 緑化施設、せせらぎ・ カスケード、カラー舗 装・石畳、照明施設、 ストリートファニ チャー・モニュメント 等)	駅周辺環境整備	由布市	カラー舗装及び外構 の整備 整備面積:2,500㎡	34	3		31	
	商店街連携対策事業	由布市	歩道段差改修:130m 外灯改修:10基	25	5		20	
電線類地下埋設施 設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						—	—	
歩行支援施設、障害 者誘導施設等								
合計	—	—	—	59	8		51	

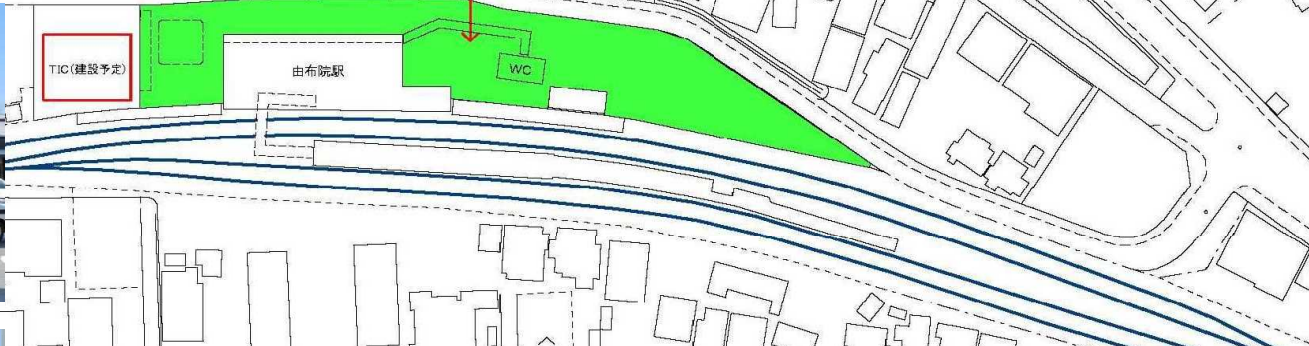
高質空間形成施設

駅周辺環境整備

平面図



由布院駅周辺環境整備
(整備面積: 2,500m²)



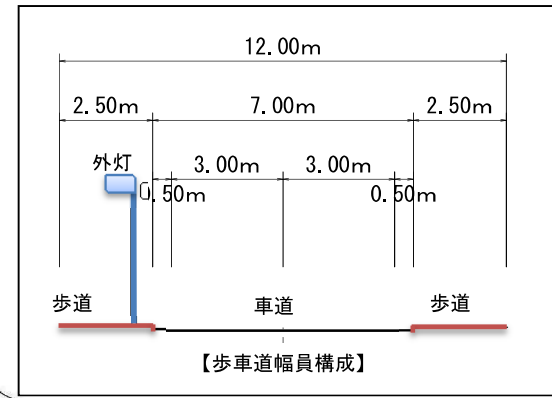
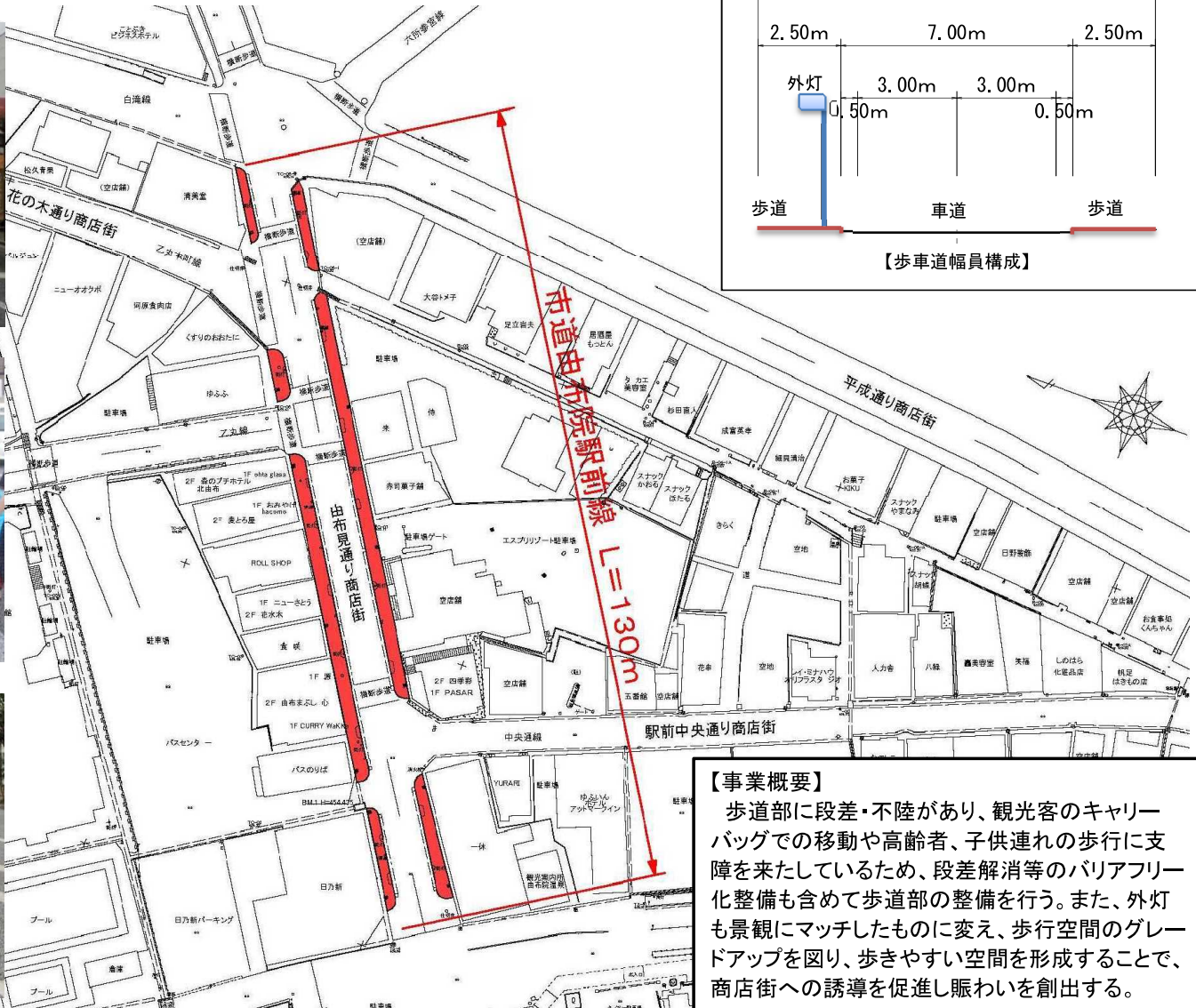
【事業概要】

JR由布院駅周辺は貸切観光バスの駅前進入や一般車両の迷い込み・回転による慢性的な渋滞が発生している。また、お宿の送迎車の駐車、タクシーの待機場、辻馬車の待機・乗降場所も駅前広場周辺にあり、歩行者と車の動線が交錯し混雑が著しく安全が脅かされており、ゆとりある由布院のイメージとはほど遠いものになっている。よって、観光交流センター建設と合わせて、駅周辺スペースの整備方針を検討し、JR乗降客の滞留場所の確保、観光バスやタクシーの乗降場所の整備、カラー舗装による人と車の分離誘導、外灯整備等、町並みに合わせた高質空間を形成することで、観光客や地元住民が安全で利用しやすく、由布院の玄関口として魅力ある空間が形成される。

高質空間形成施設

商店街連携対策事業

平面図



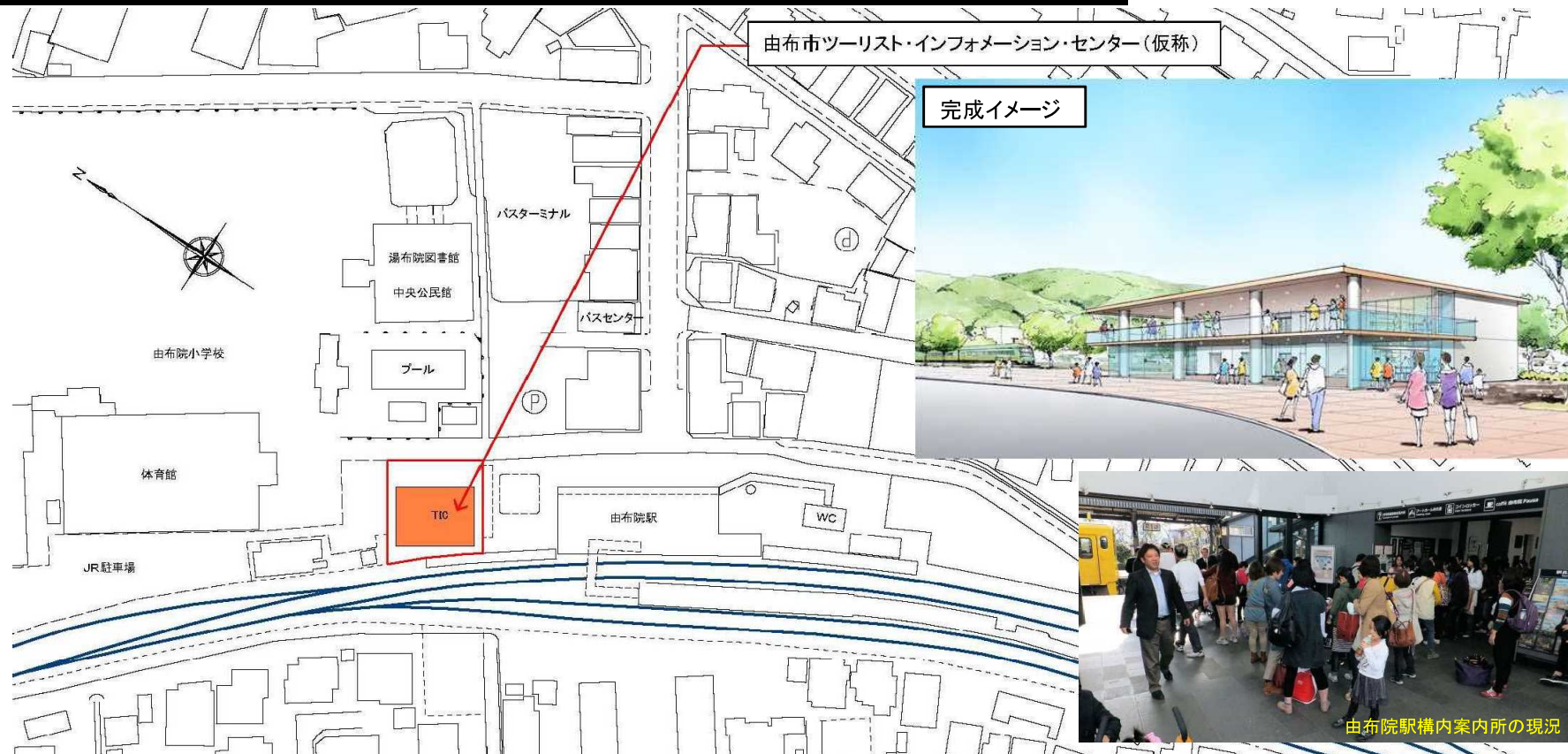
【事業概要】

歩道部に段差・不陸があり、観光客のキャリーバッグでの移動や高齢者、子供連れの歩行に支障を来しているため、段差解消等のバリアフリー化整備も含めて歩道部の整備を行う。また、外灯も景観にマッチしたものに換え、歩行空間のグレードアップを図り、歩きやすい空間を形成することで、商店街への誘導を促進し賑わいを創出する。

高次都市施設

由布市ツーリスト・インフォメーション・センター(仮称)

平面図

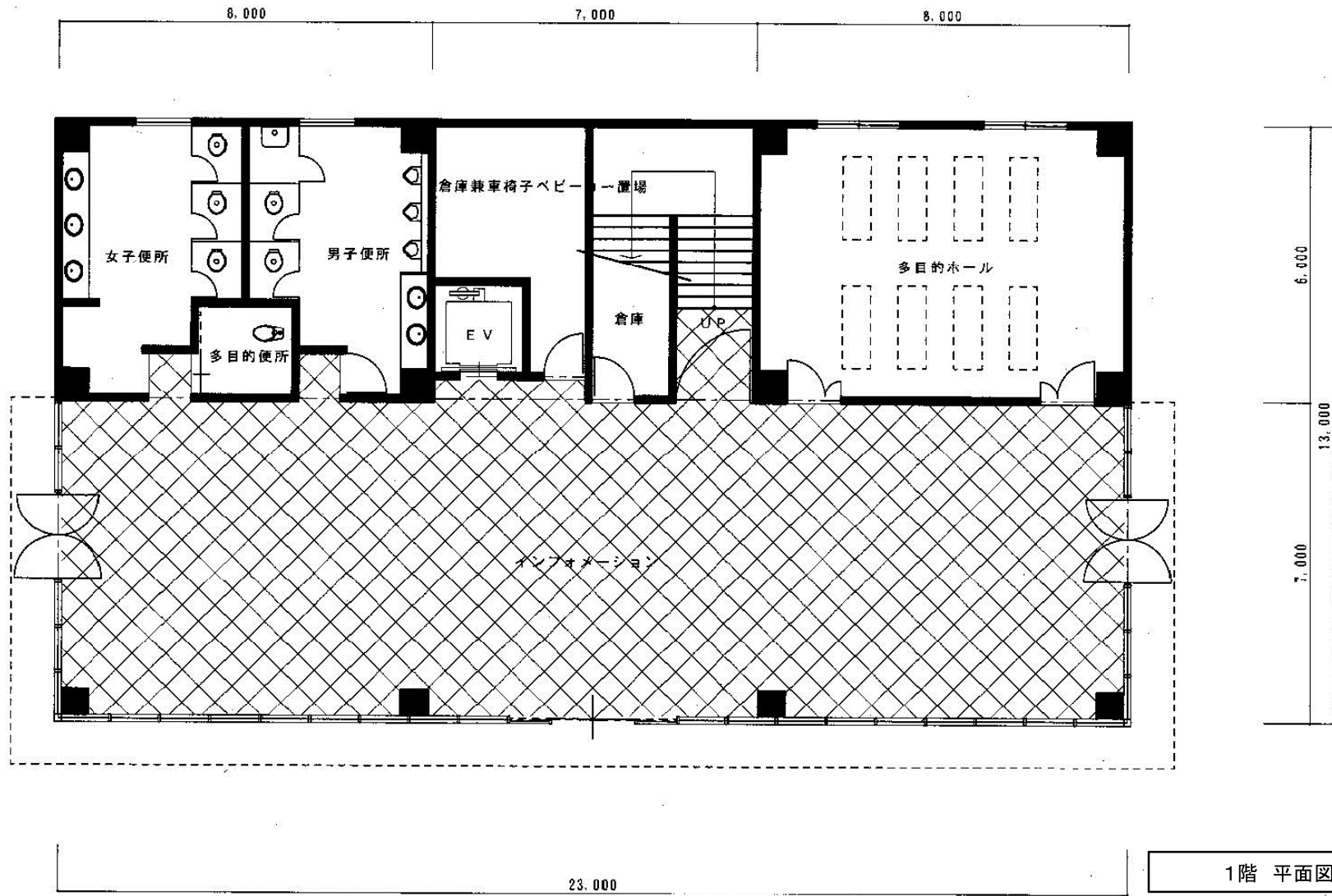


【事業概要】

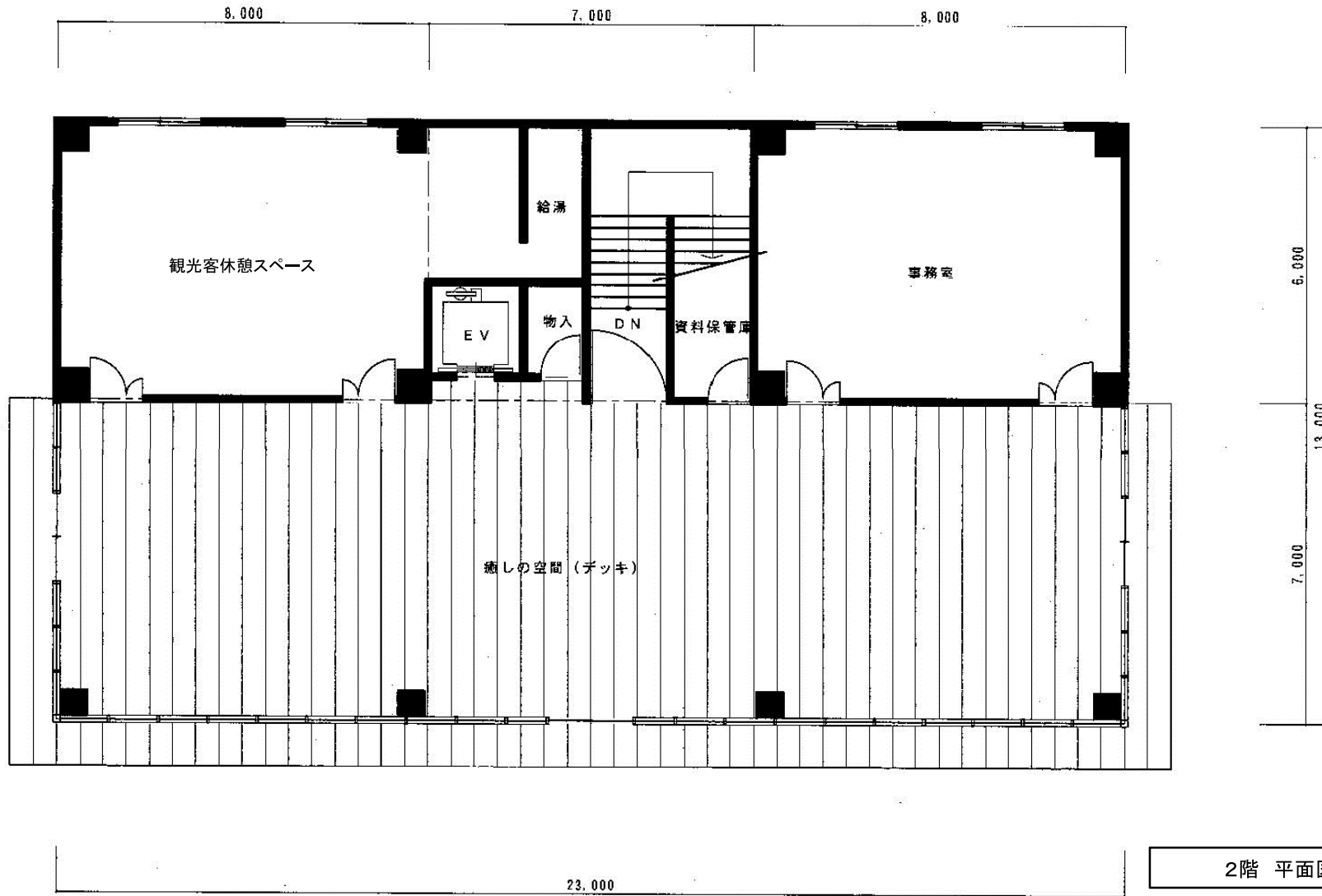
湯布院温泉は年間400万人の観光交流者があるが、由布院駅前を中心に慢性的な交通渋滞や受入環境整備、情報発信機能整備の遅れからリピーターの減少等も要因となり観光交流者は減少傾向にある。このような現状の中で、観光形態の変化に伴い個人旅行者や外国人観光客は増加しており、多様な情報ニーズへの多言語に対応した提供と案内が求められている。

現在の観光案内は、JR由布院駅構内の案内所だけでも年間16万件もの相談等に対応している現状であり、スペースを含めてその対応能力に限界がある。また、地域住民や観光交流者に対する災害等緊急時における情報伝達、避難誘導手段の整備等、情報を一元化した情報発信拠点整備が必要不可欠となっている。

計画施設は、行政の「観光施策(住んでよし)」と民間の「観光戦略(訪れてよし)」を一元化する観光情報発信拠点施設であり、施設の主な役割は、九州内広域周遊観光のハブとしての情報提供及び多言語対応の観光案内所としての機能等、広く情報の一元化を目的としており、観光交流者一人一人が満足できる観光情報等を丁寧に発信し、魅力的で満足度の高い施設を整備する。



1階 平面図



2階 平面図

地域創造支援事業

商店街活性化事業

平面図



花の木通り商店街



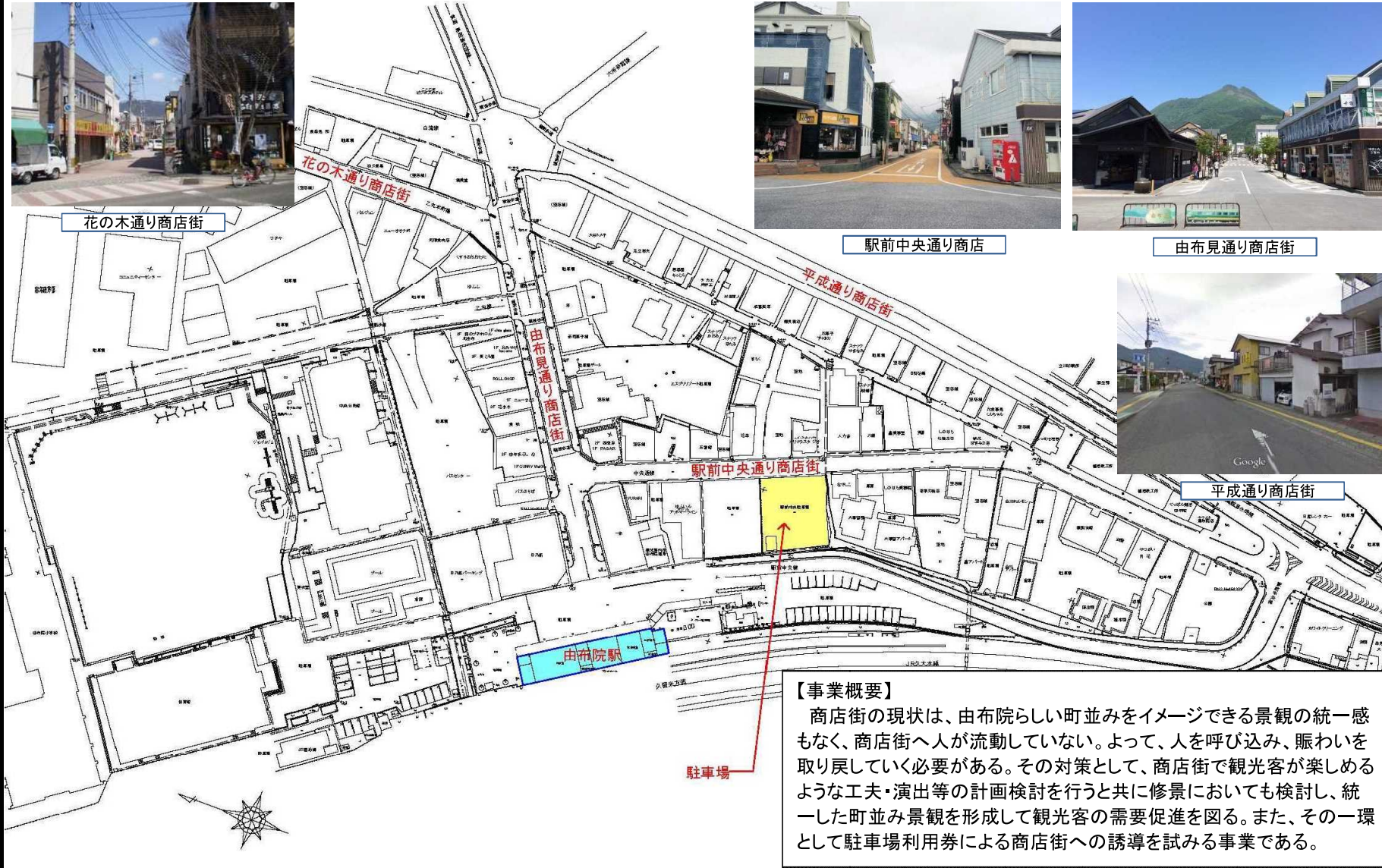
駅前中央通り商店



由布見通り商店街



平成通り商店街



【事業概要】

商店街の現状は、由布院らしい町並みをイメージできる景観の統一感もなく、商店街へ人が流動していない。よって、人を呼び込み、賑わいを取り戻していく必要がある。その対策として、商店街で観光客が楽しめるような工夫・演出等の計画検討を行うと共に修景においても検討し、統一した町並み景観を形成して観光客の需要促進を図る。また、その一環として駐車場利用券による商店街への誘導を試みる事業である。